

※この枠内にアイデアをまとめてください。枠内に記載されたことが公開の範囲です。

アイデア作品説明用紙 (整理番号 6199)

アイデアの名称 すり防止付き掛け布とカバー

①アイデアの説明図

アイデアの説明図と符号の説明を裏面に
挟んで付

②アイデアの「目的」、「しくみ」、「効果」の説明(300字以内)

アイデアの目的、しくみ、効果の説明を
A4に書いています
宜しくお願ひします

個人情報

【住所】 高知県四万十市馬前町子釜6号
【氏名】 江 比 初 恵
【TEL】 0880 - 34 - 6356

(注) 個人情報は、公開できる範囲で書いてください。

特許第4600702号

<アイデアの名称> ずれ防止付き掛け布団とカバー

<アイデアの説明図>

【図1】 掛け布団の四隅と周縁部に玉を通したループを装着した平面図。

【図2】 掛け布団の紐と同位置にスリット孔を設けたカバーの平面図。

【図3】 ループに通した玉をつまんで、カバーのスリット孔に通した部分平面図。

【図4】 A ループの玉を中心に左右にひろげた斜視図。

B ループを一結びした部分図。

【図5】 ループの玉を中心に一結びした部分平面図。

【図6】 カバーの片側縁部にファスナーを開口部から引き上げると開くように装着し、

裾の開口部とL字状に繋げ、開口部をひろく設けたカバーの平面図。

【図7】 シーツ式カバーに応用した平面図。

【図8】 ループに係止部材を装着した斜視図。

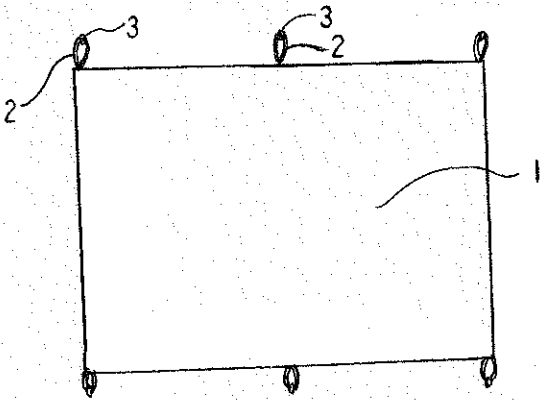
A 扇面状挟み具の斜視図

B 扇面状挟み具で掛け布団を挟んだ部分断面図

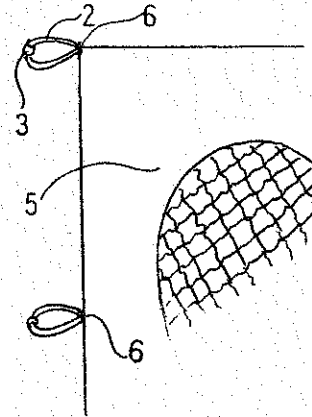
【符号の説明】

- 1 掛け布団
- 2 ループ状の紐
- 3 玉
- 4 通孔部
- 5 カバー
- 6 スリット孔
- 7 ファスナー
- 8 袋状カバー
- 9 開口部
- 10 袋状裾巻き込み分
- 11 衿カバー
- 12 裾カバー
- 13 巻き込み分
- 14 薄掛け布団又は毛布
- 15 扇面状挟み具
- 16 凹凸面
- 17 締め輪
- 18 ボタンホール孔
- 19 ゴム

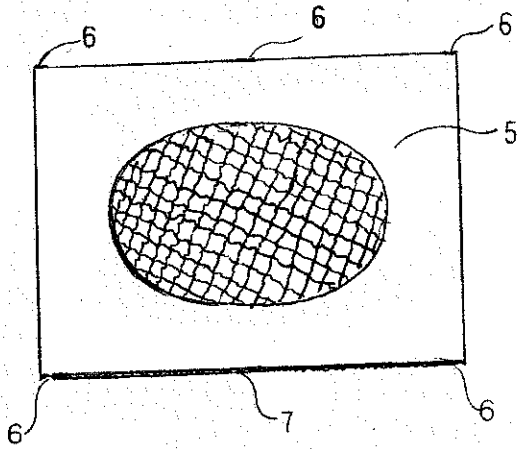
【図1】



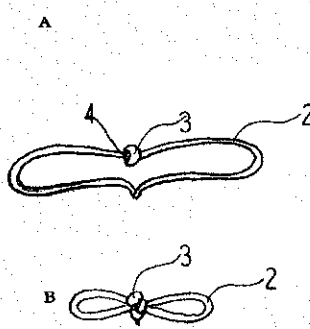
【図3】



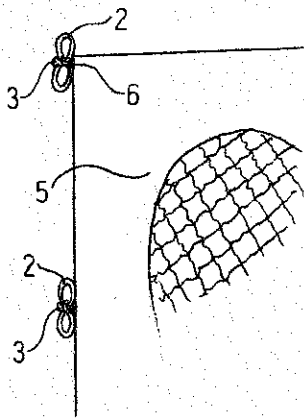
【図2】



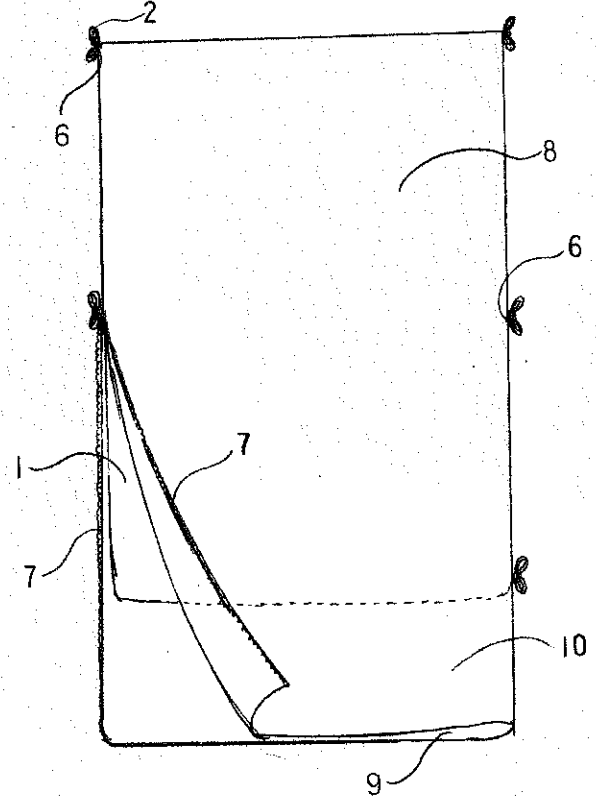
【図4】



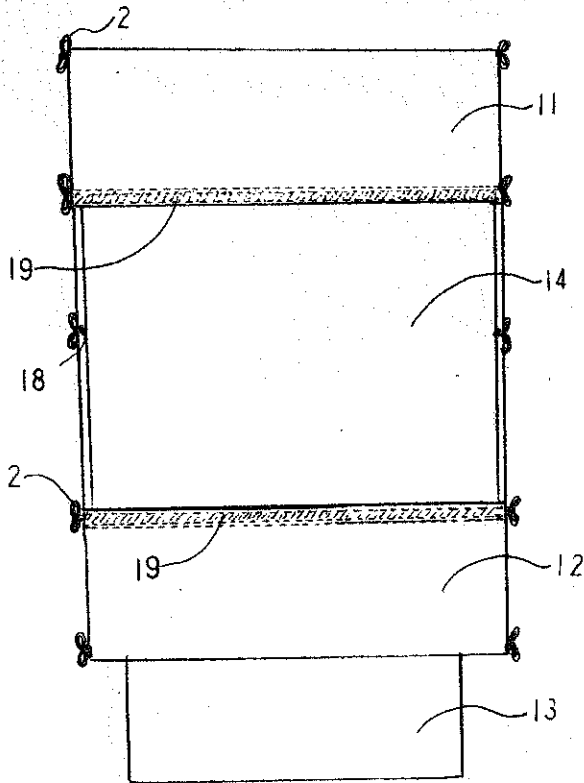
【図5】



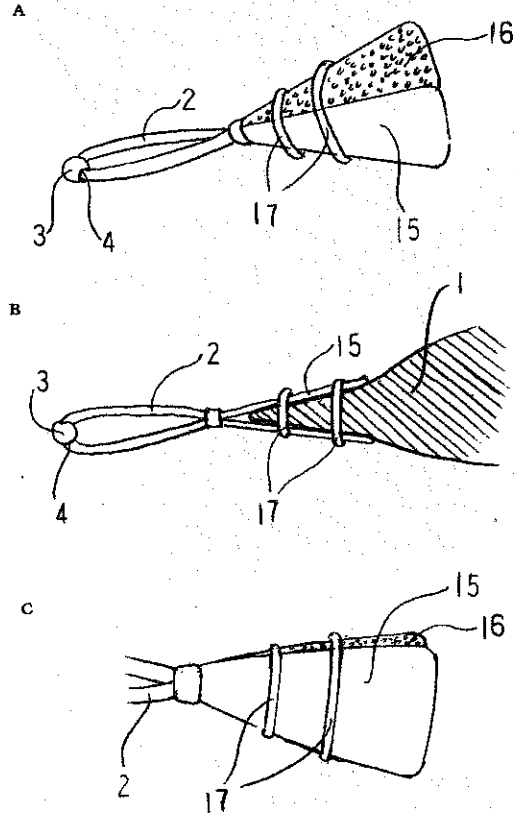
【図6】



【図 7】



【図 8】



【手続補正書】

【提出日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

掛け布団等の四隅と周縁部に、玉の通孔部を通したループ状の紐を装着し、その玉付きループ状の紐と同位置に設けたカバーのスリット孔を通して、カバーの外側に玉付きループ状の紐を突き出し、外側で玉を中心にして玉付きループ状の紐を一結びし、紐の結び目がスリット孔から抜けないようにしたずれ防止付き掛け布団とカバー。

【請求項 2】

裾に開口部をもつカバーで覆った掛け布団が、敷き布団からずれないように、カバーの裾を巻き込み分だけ延長し、カバーの少なくとも片側縁部にファスナーを開口部側から引き上げると開くように装着し、裾の開口部とL字状に繋がって開口部を広がるように設けた請求項 1 記載のずれ防止付き掛け布団とカバー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

アイデアの「目的」「しくみ」「効果」の説明

<目的>

掛け布団カバーと布団のずれを防止するために、カバーをかけ易く取り外しが楽な、簡単なずれ防止付き布団とカバーと、掛け布団が敷き蒲団やマットからのずれ落ちを防止し、安価に出来る事を目的とした。

<しくみ>

掛け布団等の四隅と周縁部に玉の通孔部を通したループ状の紐を装着し、その玉付きループ状の紐と同位置に設けたカバーのスリット孔を通して、カバーの外側に玉付きループ状の紐を突き出し、外側で玉を中心にして玉付きループ状の紐を一結びし、紐の結び目がスリット孔から抜けないようにしたずれ防止付き掛け布団とカバー。

裾に開口部を持つカバーで覆った掛け布団が、敷布団からずれないように、カバーの裾を巻き込み分だけ延長し、カバーの少なくとも片側縁部にファスナーを開口部側から引き上げると開くように装着し、裾の開口部とL字状に繋がって開口部を広がるように設けたずれ防止付き掛け布団とカバー。

<効果>

・ 掛け布団等にカバーを掛けるのは取り付け取り外しが面倒で、カバーを度々洗いたいが手間を思うと後回しになる。家庭においても特にホテルや民宿などその都度カバーの取替えを行わなければいけないところではカバーをベッドに巻き込んだり、客が寝ようとするときカバーの圧迫感でカバーを引き離し乱れてしまう。係止部材を用いたものもあるが、広いカバーの中で柔らかい紐を通したり結んだりは大変な作業である。

・ 本案は、掛け布団等の四隅と周縁部に玉の通孔部を通したループ状の紐を装着し、掛け布団等の玉付きループ状の紐と同位置に設けたカバーのスリット孔を通して表側に玉を突き出し、外側でループ状の紐を一結び、紐の結び目がスリット孔から抜けないようにしたずれ防止付き掛け布団とカバーなので、カバーの内側で結ぶ労力に比べて、外側で取り替え、取り外しの交換がより簡単になり、労力が半減される。

・ ループ状の紐は、玉の通孔部を通して、布団に装着している為に、ループ状の紐に通した玉をつまんで、玉の円周より一回り大き目のスリット孔を通して突き出すだけで良い。玉をつまんでスリット孔に持って行くので、持ちやすく、通しやすい。通した後、外側で玉を中心にして、ループの状の紐を輪にして左右に開き一結びするだけで良い。結んだル

ープ状の紐を蝶のように左右に開くと、スリット孔よりはるかに大きくなり、抜けにくい。解く時は玉を引っ張れば結び紐が簡単に解かれるので、布団カバーの交換が楽になる。

・カバーの裾は、敷き布団から外れない程度に、カバーの裾を折り曲げ分を加えて長くし、カバーの少なくとも片側縁部に装着したファスナーを開口部側から引き上げると裾の開口部とL字状に繋がって開くように、開口部をひろく設けているので、布団の出し入れがしやすく、布団とカバーの交換が簡単になる。しかも掛け布団に、カバーとのずれ防止の装置を設けている為、掛け布団とカバーが外れない。